

[感想・メッセージ]

- 小千谷市の中学生の行動は、自分にもできることなので参考になりました。もしものそなえはとても大切なことだとわかりました。家族とよく相談して、地震が起きたらどうすればよいのかを考えることは大切だと思いました。

新聞紙で作れるスリッパは、とても便利でよいと思います。

- スリッパづくりや実験を通して、とても地震への関心が高まりました。もし地震が起きたらどう行動すればよいか、よくわかりました。



液状化現象の実験



防災講話

- 自分の命は自分で守り、地域の人と助け合っていくためには、日々の備えが重要だということがわかりました。
- クイズ形式で大切なことがよく理解できた。実際の映像を見て、こんなにも揺れるのかとびっくりしたし、とても恐ろしいことが分かった。
- 防災対策として、家具の固定や家族との避難先の共有など、しっかりとやっておこうと思った。
- 資料やビデオなどから、悲惨さがよく伝わってきた。人々が協力して復興したこともすごいと思った。
- 講演を聞いて“災害はいつ起こるか分からない”ということを改めて感じた。写真や動画を見ると、被害は想像しているよりはるかに大きく驚いた。被害にあわれた人もこのような災害が起こるとは思っていなかったと思うので、日頃からの準備が大切なんだと感じた。また、過去に起きたことがないような震度、規模も想定してみるとよいのではないかと感じた。

日本は、“地震大国”と呼ばれるほど地震が多く、他の災害も少なからず発生している。海外でも評価されえるほど避難訓練を行っているのに、実際起きるとパニックになってしまい、訓練通りの行動がとれないと動画を見て思った。だから、訓練をまじめに受けたり、防災についての知識を増やしたりしておけば、自分自身の命を守ることにつながるのではないかと考えた。
- 私が一番驚いたことは、震度5の地震でも建物が倒れたり家においてある家具などほとんどが倒れ、ばらばらになったりすることもあるということ（液状化現象）。また、避難する時に持っていくものを事前に準備しておくことが大切だと感じました。家具などを突っ張り棒で固定して日ごろからそなえることも大切だとわかった。様々な災害は、いつ起こるか分からないからこそ、いつ起きても自分がすぐに今しなければならぬことの判断ができるということが、すごく大切だとわかった。今日学んだことを、これからの生活に生かしていきたい。
- 今日の講演会では、実験や実際の様子を映像で満つことで、地震の恐ろしさや大変な様子がよく分かった。避難所に体育館や車の外にビニルハウスも利用していることに驚いた。

今、世界的にコロナウィルスが流行っており、感染を恐れて避難所に避難しない人が多く出ると犠牲者が多く出てしまうなどと思った。感染予防の視点から体育館や車だけでなく、公園などに避難するのがよいと思った。新聞なども工夫すればスリッパになるし、避難後は、色々と工夫しながら生活することも大切だと思った。自分の命を守るために、日頃から防災意識を持って生活することが大切だと感じた。